

第 226 回 日本知能情報ファジィ学会 理事会議事録 (第 15 期, 第 4 回)

日時：2017 年 11 月 1 日 (水) 13:00~17:00

場所：関西大学・千里山キャンパス・学術フロンティア 2 階 F21 会議室

<http://www.kansai-u.ac.jp/global/guide/mapsenri.html> (地図中心あたりの⑫の建物)

出席者 (敬称略)：林 (会長), 乾口 (副会長), 藤吉 (副会長), 櫻井 (会誌), 本多 (事業・研究推進), 堀尾 (財務・会計), 井田 (規程・選奨), 工藤 (出版・他学会連携), 中島 (特任・電子化データベース), 堀口 (事業監事), 広兼 (総務)

skype 出席者 (敬称略)：能島 (広報)

欠席者 (敬称略)：前田 (特任・資料アーカイブス), 金久保 (財務・会計監事), 橋山 (大会デザイン)

【審 議】

1. 前回議事録の確認 (資料 226-0：広兼, ML 審議 9/26 承認)

- ・ 標記について, 担当理事から説明があった.
- ・ 議事録案が承認され, HP に掲載することとした.

2. 他学会の研究方針情報について (資料 226-1：林)

- ・ 日本神経回路学会主催の「第 1 回次世代脳型人工知能研究会」の開催案内が紹介された.
- ・ この研究会では, 神経回路研究が目指すべき方向性として「Beyond Deep Learning」という目標が掲げられていることが紹介され, 日本知能情報ファジィ学会でも何らかの方向性を打ち出す必要があるのではという課題が提示された.

3. 第 15 期理事会・平成 29 年度ロードマップについて (資料 226-2：林)

- ・ 標記について, 担当理事から説明があった.
- ・ 第 224 回理事会の資料 224-10 に, 「0) ザデー先生追悼関連」を追加して, それぞれの具体案に担当理事を明記したことが報告された.
- ・ 全体で 18 項目リストアップされている具体案のうち, 1 3) 以降は少し時間のかかる課題であり, 0) から 1 2) までの具体案について, 何らかの方向性を今年度中に検討していくことを再確認した.
- ・ 担当理事が承認され, 具体案にそって検討を進めていくこととした.

4. Zadeh 先生を偲ぶ会について (資料 226-6-1, 2, 3, 4, 5, 6, 7：林, 前田)

- ・ 標記について, 担当理事から説明があった.
- ・ 資料 226-6-2, 資料 226-6-3 に基づき, 担当理事の間で, 開催時期, 開催場所, 会員への呼びかけ, 開催費用, 開催記録, マスコミ対応などについて議論したことが報告された.
- ・ 開催場所は大学で実施することも検討したが, 費用・負担の面から関西地区のホテルに依頼するほうが現実的であることが報告された.

- ・お土産として Zadeh 先生の OMRON での講演会風景などを DVD に焼き、カタログショッピング (3,000 円相当) と共に参加者の手土産にする案が報告された。
- ・資料 226-6-4, 資料 226-6-5, 資料 226-6-6, 資料 226-6-7 に基づき, 2017 年 12 月 23 日 (土) と 2018 年 1 月 20 日 (土) の両日, 新阪急ホテルの「宙の間」を仮予約したことが報告された。また, 見積書より, 30 名で, 軽食, フリードリンク, 設備費として 249,696 円となることが報告された。
- ・共催として, バイオメディカルファジィ学会, オムロンの可能性があることが報告された。
- ・以上の提案に対して議論した結果, 以下について承認された。
 - 1) 1 月 20 日, 新阪急ホテルで 15:00 から開催することが承認された。
 - 2) 飲食代は個人で, 会場設備費を学会で負担する方針が承認された。
 - 3) 偲ぶ会の案内は, 参加費 5000 円として, 学会誌, HP, メーリングリストで案内することが承認された。
 - 4) カatalogショッピングのお土産はなしで, 思い出として DVD (FIC2004, OMRON での講演などを焼いたもの) を配布する方向で計画することが承認された。
- ・偲ぶ会の開催前の 13:00 頃からシニア世代研究会を開催する方向で検討することとした。

5. 学会誌の予算について (資料 226-8 : 櫻井)

- ・標記について, 担当理事から説明があった。
- ・論文も含めて A4 サイズで発刊することを, 編集委員会で検討することとした。
- ・表紙を 4 色刷りにすることについても, 編集委員会で検討していくこととした。
- ・変更を決定しても, 再来年の 2 月号からの変更になることが確認された。

6. 学会誌の企画状況について (資料 226-9-1, 資料 226-9-2 : 櫻井)

- ・資料 226-9-2 に基づき, Zadeh 先生追悼企画案が説明された。
- ・2017 年 12 月号の Zadeh 先生追悼企画について承認された。
- ・2018 年 2 月・4 月号の企画について説明された。2 回に分けての企画であれば, 菅野先生 (Zadeh 先生の功績に関する学術的意義) 以外でアカデミックな内容の記事を数名増やす必要があることが確認された。
- ・2018 年 6 月・8 月号の企画について, 若手研究者を中心に, ファジィ (ソフトコンピューティング) への期待について記事を募集することが報告されて, 今後, 執筆者を含めて詳細を検討していくこととした。
- ・資料 226-9-1 に基づき, Vol.29, Vol.30 などの現状での記事内容を確認した。
- ・Vol.29, No.6 の記事, 学会賞受賞者, 名誉会員関連の記事の執筆担当について確認した。

7. 協力学術研究団体の実態調査について (資料 226-10-1, 2, 3 : 広兼)

- ・標記について, 担当理事から説明があった。
- ・日本学術会議から協力学術研究団体の実態調査の依頼があったことが報告された。
- ・資料 226-10-3 が 2017 年 2 月 22 日現在の日本知能情報ファジィ学会のデータとなっていることが報告された。

- ・各調査項目内容の詳細は資料 226-10-2 に説明されていることが報告された。
- ・国際会議への関与・主催行事の「International Conference on Soft Computing and Intelligent」は「International Conference on Soft Computing and Intelligent Systems」に修正することが確認された。
- ・各担当理事（特に出版関係の調査項目は開始担当理事）に内容を確認していただき、修正がある場合は、11月20日までに連絡をすることとした。
- ・最終的には、各担当理事からの修正意見を受けて、会員数を事務局に確認の上、11月30日までに回答することが了承された。

8. ORCID 学協会コンソーシアムについて（資料 226-11-1, 2, 3 : 広兼）

- ・標記について、担当理事から説明があった。
- ・ORCID 活動（多様な研究活動情報を一つの研究者 ID に紐づけして情報共有しようとする取り組み）が国際的に広がりつつあることが紹介され、横幹連合から、「科研費への共同申請」「説明会」「会長懇談会」への案内があったことが報告された。
- ・「科研費への共同申請」については希望者もなく、見送ることとした。
- ・「説明会」「会長懇談会」についても日程が合わず、事務局に欠席で回答することとした。

9. 名誉会員の選出について（資料 226-12-1, 2 : 乾口）

- ・特別会員、名誉会員、功績賞、フェローに必要な要件について確認した。
- ・現在、名誉会員となっている方のリストが報告された。
- ・今年度は馬野先生と鬼沢先生を名誉会員の候補とすることが承認された。本人の承諾をもって名誉会員となる。
- ・学会誌（2017年12月号）の記事として、名誉会員の紹介記事を準備することとした。

10. 第1回将来構想委員会報告（資料 226-13-1, 2 : 乾口）

- ・標記について、担当理事から説明があった。
- ・資料 226-13-1 に基づき、2014年9月3日に実施された将来構想フォーラムの議事内容が紹介された。
- ・学会のアイデンティティ、支部と研究部会の扱い、会員数安定・増加への対応策、女性研究者の視点、国際化、将来の研究のあり方が主要議題であったことが報告された。
- ・それぞれの議題に対する意見の紹介があり、各担当理事は、これらの意見を参考に、具体案の検討を進めていくことが確認された。
- ・国際化については他学会でも進めた例があり、国内学会としての存在意義が薄れていった例もあることが紹介された。

11. 他学会連携についての意見交換（資料 226-14 : 工藤）

- ・標記について、担当理事から説明があった。

- ・資料 226-14 に基づき、他学会連携のメリットデメリットについて説明され、日本認知学会、電気学会（電子・情報・システム）、日本神経回路学会、人工知能学会の会員数、学会参加者、学会発表資格、研究内容などが紹介された。
- ・研究内容、規模などを考慮すると、今後は、認知科学会を中心に連携の検討を進めていくことが妥当ではないかということが報告された。
- ・今後、認知科学会との連携を計画するにあたって、以前、日本神経回路学会と連携した件については特に問題ないことが確認された。複数の選択肢を検討することも重要であることが確認された。
- ・認知科学会の大会は 9 月中旬ころに開催されており、FSS とも同時期であり、連携しやすいことが確認された。
- ・認知科学会の大会のプログラム等を調査して、内容についても確認することとした。

12. 学会ホームページの修正と Zadeh 先生の追悼ページについて（資料 226-5：能島）

- ・標記について、担当理事から説明があった。
- ・資料 226-5 に基づき、ホームページの修正と Zadeh 先生の追悼ページの掲載について、案が説明された。
- ・トップページのイベント情報とニュースの後に位置している 3 つの丸（リンク）を、学会バナーとイベント情報の間（上の方）へ移動させる件について意見が一致した。
- ・形状は、丸ではなくて四角などで、アニメーションもなくして、リンクボタンとしてイメージしやすいデザインにしたほうが良いとの意見があり、形状等については再検討することとした。
- ・Zadeh 先生の追悼ページについて、3 つの案が提案された。
- ・掲載案 2 のような形で案に記載された第 1 段落をトップページに掲載して、追悼ページにリンクする形で検討することとした。
- ・リンク先の追悼ページには、学会誌の追悼ページの 1 ページ目（略歴、写真など）、偲ぶ会の開催案内、特集号の目次、FSS での黙祷写真などを掲載する方向で検討することとした。
- ・偲ぶ会の開催案内はイベント情報にも掲載することとした。

13. SOFT-CR 活性化について（資料 226-15：中島）

- ・標記について、担当理事から説明があった。
- ・SOFT-CR の活性化について、FSS 企画セッション、学会誌特集号、学会賞の設置、理事会・研究部会・支部などへの広報など、様々な企画案について説明された。
- ・FSS での企画セッションで発表を依頼するためには、インセンティブ（参加費の免除、賞など）を付与する形で検討していく必要があることを確認した。
- ・パラレルセッションに組み込むと人が集まらない可能性が高いので、ビアセッション内でポスターセッションのような形で企画するなどの工夫が必要である。
- ・次回理事会で、企画セッションの内容・形態、インセンティブ（企画セッション内での賞など）について詳細を検討することとした。

14. その他

- ・ Zadeh 賞を設ける件について、新たに賞を設けるのではなく、今ある論文賞や奨励賞の中で特別なものを Zadeh 賞、あるいは Young Zadeh 賞などと位置付ける方向で検討することとした。
- ・ 学会賞（奨励賞）の決定について、年度内に決定する方向で検討を進めていることが報告された。
- ・ 学会規程について、紙ベースのものではなく PDF 化されたものもないため、HP の情報から学会の規程リストを作成して、紙または PDF 化を実施していくことが報告された。
- ・ 学会誌の電子化を順次進めていることが報告された。

【報告】

1. Zadeh 先生への追悼文の募集について（資料 226-3：林，ML 審議 10/3 承認）

- ・ 標記について、担当理事から説明があった。
- ・ ML で審議・承認されたとおり、Zadeh 先生への追悼文や Zadeh 先生との思い出など記録に残したいことを、学会員に対して HP から投稿してもらおうよう広く募集したことが報告された。

2. 人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会（資料 226-4：広兼，ML 審議 8/25 承認）

- ・ 標記について、担当理事から説明があった。
- ・ ML で審議・承認されたとおり、日本学術会議から誘いがあった「人文社会科学系学協会男女共同参画推進連絡会」への参加希望者がいなかったため、今回は参加を見送ることとした。

3. 平成 29 年度拡大事業委員会議事録（資料 226-7：本多）

- ・ 標記について、担当理事から説明があった。
- ・ 第 225 回理事会において口頭で報告した内容に関して、あらためて拡大事業委員会議事録案（資料 226-7）が提出され、その内容について報告された。

4. その他

- ・ 特になし

以上